

| | | | | | | | | | |
|-----|------|-----|-------|-------|---------|----|------|------------|---|
| 科目名 | 法医学Ⅱ | 担当者 | 奥田 貴久 | 部別 | 第一部 | 期間 | 後期 | 単位数 | 2 |
| | | | | 授業時間数 | 90分×15回 | | 必修選択 | 法律 公共政策 | |

| | | | | | | | | |
|--------------------------------------------------------------------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 【関連するDP・CP】 (DP=ディプロマ・ポリシー:学位授与に関する方針) (CP=カリキュラム・ポリシー:教育課程の編成・実施に関する方針) | DP-1 | DP-2 | DP-3 | DP-4 | DP-5 | DP-6 | DP-7 | DP-8 |
| | CP-1 | CP-2 | CP-3 | CP-4 | CP-5 | CP-6 | CP-7 | CP-8 |
| | ○ | ○ | | | | | | |

【授業の概要】
 法医学は、法学の分野に医学の知識と原則を適用し、問題解決の一助となることで社会的使命と責任を果たすことを目的としています。特に死因究明は法医学の主要業務であり、死因を決定するために法医学解剖を通じたエビデンスの収集を行います。また、薬毒物やアルコール、生命倫理、医療安全、DNA鑑定なども法医学に関連した領域です。法に関連する医学的諸問題を解決するための基本的な事柄を学生諸君に医学的知識がないことを前提にわかりやすく解説します。

【授業の目的】(General Instructional Objective: GIO 一般目標)
【授業目的】 法医学が医学に属し自然科学を基礎としていることを理解し、社会における様々な事件事故に法医学が果たしている役割を理解することを目的とする。
【到達目標】 法医学の基本的事項を習得し、回答できる。法医学の各事例についてそれぞれ問題点を指摘できる。
 関連DP及びCP: 法律学科1, 2 公共政策学科1, 3, 4

【履修条件】
 講義内容は他言しない。SNS等で講義内容を拡散させることは厳禁。講義で用いる写真や動画等の撮影は禁止。解剖の写真にはモザイクをかける。人体の構造と機能については自習をお願いしたい。

【授業方法】
 オンデマンド配信講義を予定している。授業後の確認テストに回答することで出席とする。希望者には法医学解剖の見学機会を設ける。

| | |
|----------------------|---|
| アクティブ・ラーニングによる授業回の有無 | 無 |
| アクティブ・ラーニングの形態 | |

【到達目標】(Specific Behavioral Objectives: SBOs 個別行動目標)

| ルーブリック評価項目の内容 | A-1 | A-2 | A-3 | A-4 | A-5 | A-6 | A-7 | A-8 |
|---------------|------------------------------------|------------------------|------------|----------|----------------------|------------|-------------|-----|
| | 豊かな知識・教養に基づく高い倫理観 | 日本及び世界の社会システムを理解し説明する力 | 論理的・批判的思考力 | 問題発見・解決力 | 挑戦力 | コミュニケーション力 | リーダーシップ・協働力 | 省察力 |
| | 達成されるべき具体的行動 | | | | 関連するルーブリック評価項目の達成レベル | | | |
| | A-1 | A-2 | A-3 | A-4 | A-5 | A-6 | A-7 | A-8 |
| ① | 法医学とは何か、死因、死因の種類について説明できる。 | 1 | 1 | | | | | |
| ② | 死の判定、心臓死、脳死、臓器移植法について説明できる。 | 1 | 1 | | | | | |
| ③ | 種々の内因死、外因死について成因や受傷機転を理解し、説明できる。 | 1 | 1 | | | | | |
| ④ | 交通事故関連法規や交通事故の現状、交通外傷について説明できる。 | 1 | 1 | | | | | |
| ⑤ | わが国の死因究明について、実務面と法的側面から説明できる。 | 1 | 1 | | | | | |
| ⑥ | 違法薬物に関連する法律、薬物依存について説明できる。 | 1 | 1 | | | | | |
| ⑦ | 硫化水素、フグ毒、ヒ素など稀な毒物による死について説明できる。 | 1 | 1 | | | | | |
| ⑧ | 代表的医療事故について説明できる。 | 1 | 1 | | | | | |
| ⑨ | 飲酒がもたらす社会問題について、依存や健康被害の観点から説明できる。 | 1 | 1 | | | | | |
| ⑩ | 死亡時画像診断について説明できる。 | 1 | 1 | | | | | |

| 【成績評価の方法・基準・割合】 | | 到達目標 | | | | | | | | | | 評価方法別の比率(%) |
|-----------------|-----------------|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-------------|
| 成績評価方法 | 評価基準 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ | |
| 試験(定期試験/授業内試験) | | | | | | | | | | | | |
| 小テスト等 | 授業毎に確認テストを実施する。 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 60 |
| レポート等 | 期末にレポートを課す。 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 40 |
| 討論・発表等 | | | | | | | | | | | | |
| 授業への参画度 | | | | | | | | | | | | |
| その他() | | | | | | | | | | | | |
| その他() | | | | | | | | | | | | |
| その他() | | | | | | | | | | | | |
| 到達目標別の比率(%) | | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 100 |

| 【課題に対するフィードバックの方法】 |
|--------------------|
| 確認テストの解答を公表する。 |

| 【教科書・参考書等】 | | | | | |
|-------------------|---------------------------|-----------|------|-----|-----|
| 書名 | 著者名 | 出版社名 | 発行年 | 種別 | 必要度 |
| NEWエッセンシャル法医学 第6版 | 高取 健彦 (監修), 長尾 正崇 (編集) | 医歯薬出版 (株) | 2019 | 参考書 | 推奨 |
| 死体格差—異状死17万人の衝撃— | 山田 敏弘 | 新潮社 | 2021 | 参考書 | 推奨 |
| 監察医が書いた 死体の教科書 | 上野 正彦 | 朝日新聞出版 | 2010 | 参考書 | 推奨 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 備考 | | | | | |

| 【オフィスアワー】 |
|---------------------------------------------------------|
| 月曜～金曜 9:00～17:00 メールにて連絡 (okuda.takahisa@nihon-u.ac.jp) |

| 【実務経験を活かした実践的教育について】 | | |
|----------------------|---|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 担当教員の実務経験の有無 | 有 | 実務経験の内容 |
| 実務経験に基づく実践的教育の内容 | | 法医学解剖100件/年、臨床医としての20年以上の診療経験、メリーランド州での解剖実務経験、動物を用いた研究10年以上 国内外の法医学解剖はもちろんのこと、アルコール医学やDNAの基礎研究も行っています。臨床医としての病院勤務経験や専門医資格も有しますので、学生諸君が社会に出てから法学の専門家として必要となる医学的事柄をわかりやすく指導します。 |

【授業計画】※日程について、複数の曜日・時限にて同授業を開講の場合は、併記を行っている。

| 回数 | テーマ | 内 容 | |
|----|----------|---------------------------------------------------|------|
| 1 | 法医学概論 | 法医学と関連領域、法医鑑定、死因、死因の種類など。 | |
| | この回の到達目標 | 本講義の内容についておおよそ説明できる。 | |
| | 事前学修 | アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などを確認しておく。Webなどで検索してみる。 | 70分 |
| | 事後学修 | 確認テストに回答する。講義でも不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。 | 170分 |
| 2 | 生命と死 | 生命徴候、心臓死、脳死、臓器移植法などについて、医療倫理の側面と実務面から考察する。 | |
| | この回の到達目標 | 本講義の内容についておおよそ説明できる。 | |
| | 事前学修 | アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などを確認しておく。Webなどで検索してみる。 | 70分 |
| | 事後学修 | 確認テストに回答する。講義でも不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。 | 170分 |
| 3 | 死体現象 | 早期、晩期、特殊死体現象について、これらが死後経過時間のみならず死因の推定にも役立つ。 | |
| | この回の到達目標 | 本講義の内容についておおよそ説明できる。 | |
| | 事前学修 | アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などを確認しておく。Webなどで検索してみる。 | 70分 |
| | 事後学修 | 確認テストに回答する。講義でも不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。 | 170分 |
| 4 | 損傷 | 創傷の種類と鑑別 | |
| | この回の到達目標 | 本講義の内容についておおよそ説明できる。 | |
| | 事前学修 | アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などを確認しておく。Webなどで検索してみる。 | 70分 |
| | 事後学修 | 確認テストに回答する。講義でも不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。 | 170分 |
| 5 | 交通死亡事故 | 交通関連法規、交通事故の現状、交通外傷の法医鑑定事例について。 | |
| | この回の到達目標 | 本講義の内容についておおよそ説明できる。 | |
| | 事前学修 | アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などを確認しておく。Webなどで検索してみる。 | 70分 |
| | 事後学修 | 確認テストに回答する。講義でも不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。 | 170分 |
| 6 | 日本の死因究明 | 死体検案と異状死体について、異状死体の届け出義務についてなど、わが国の死因究明の在り方を考察する。 | |
| | この回の到達目標 | 本講義の内容についておおよそ説明できる。 | |
| | 事前学修 | アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などを確認しておく。Webなどで検索してみる。 | 70分 |
| | 事後学修 | 確認テストに回答する。講義でも不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。 | 170分 |

【授業計画】※日程について、複数の曜日・時限にて同授業を開講の場合は、併記を行っている。

| 回数 | テーマ | 内 容 | |
|----|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 7 | 頭部外傷 | 硬膜下血腫・脳ヘルニアなど。 | |
| | この回の到達目標 | 本講義の内容についておおよそ説明できる。 | |
| | 事前学修 | アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などを確認しておく。Webなどで検索してみる。 | 70分 |
| | 事後学修 | 確認テストに回答する。講義でも不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。 | 170分 |
| 8 | 窒息 | 縊頸・絞頸・扼頸の違いの解説、気道内異物の鑑定事例について。 | |
| | この回の到達目標 | 本講義の内容についておおよそ説明できる。 | |
| | 事前学修 | アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などを確認しておく。Webなどで検索してみる。 | 70分 |
| | 事後学修 | 確認テストに回答する。講義でも不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。 | 170分 |
| 9 | 異状環境による死 | 焼死・CO中毒・広範囲熱傷・凍死などの成因や鑑定事例について。 | |
| | この回の到達目標 | 本講義の内容についておおよそ説明できる。 | |
| | 事前学修 | アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などを確認しておく。Webなどで検索してみる。 | 70分 |
| | 事後学修 | 確認テストに回答する。講義でも不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。 | 170分 |
| 10 | 飲酒と社会問題 | 酒類はアルコールを主成分とする嗜好品であるとともに、依存症を引き起こす薬物でもある。アルコール依存症は飲酒運転・家庭内暴力などの社会問題及び肝疾患・突然死などの健康被害をもたらす。飲酒と社会問題について考察する。 | |
| | この回の到達目標 | 本講義の内容についておおよそ説明できる。 | |
| | 事前学修 | アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などを確認しておく。Webなどで検索してみる。 | 70分 |
| | 事後学修 | 確認テストに回答する。講義でも不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。 | 170分 |
| 11 | 法医中毒学Ⅰ | 覚せい剤、大麻などの違法薬物、向精神薬・眠剤などの処方薬の大量摂取に関連する事故・中毒・自殺の鑑定事例について。 | |
| | この回の到達目標 | 本講義の内容についておおよそ説明できる。 | |
| | 事前学修 | アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などを確認しておく。Webなどで検索してみる。 | 70分 |
| | 事後学修 | 確認テストに回答する。講義でも不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。 | 170分 |
| 12 | 法医中毒学Ⅱ | 硫化水素・青酸・ヒ素・フグ毒など稀な毒物による事件・事故、沖縄トリカブト事件について。 | |
| | この回の到達目標 | 本講義の内容についておおよそ説明できる。 | |
| | 事前学修 | アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などを確認しておく。Webなどで検索してみる。 | 70分 |
| | 事後学修 | 確認テストに回答する。講義でも不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。 | 170分 |

【授業計画】※日程について、複数の曜日・時限にて同授業を開講の場合は、併記を行っている。

| 回数 | テーマ | 内 容 | |
|----|-----------------|------------------------------------------------------|------|
| 13 | オートプシユール・イメージング | 死亡時画像診断の実務的、法的問題について考察する。 | |
| | この回の到達目標 | 本講義の内容についておおよそ説明できる。 | |
| | 事前学修 | アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などを確認しておく。Webなどで検索してみる。 | 70分 |
| | 事後学修 | 確認テストに回答する。講義でも不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。 | 170分 |
| 14 | 医療安全のしくみ | 代表的医療事故を振り返り、医療事故を防止するための医療安全の仕組みについて考察する。法的問題にも触れる。 | |
| | この回の到達目標 | 本講義の内容についておおよそ説明できる。 | |
| | 事前学修 | アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などを確認しておく。Webなどで検索してみる。 | 70分 |
| | 事後学修 | 確認テストに回答する。講義でも不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。 | 170分 |
| 15 | アメリカの法医学 | 銃・麻薬など、アメリカ社会の問題の解説。日本とアメリカとの死因究明制度の違いについて。 | |
| | この回の到達目標 | 本講義の内容についておおよそ説明できる。 | |
| | 事前学修 | アップロードされたプリントに目を通し、不明な点などを確認しておく。Webなどで検索してみる。 | 70分 |
| | 事後学修 | 確認テストに回答する。講義でも不明だった点、疑問に残る点を整理し、Webなどで調べてみる。 | 170分 |